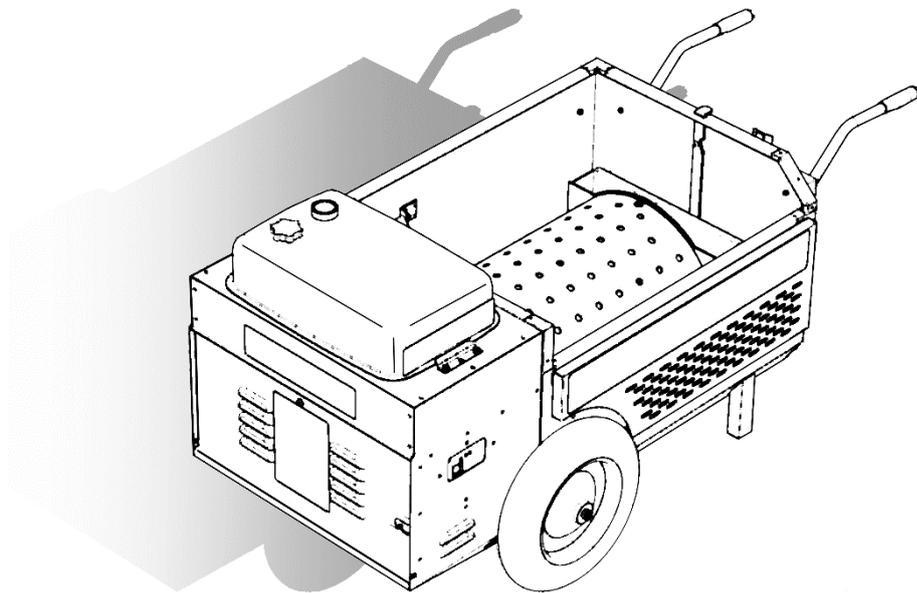




エアウォーターグループ

株式会社 **ホクエイ**

SMT1300 スノーメル太郎 取扱説明書



警告

製品を使用する前に取扱説明書を注意深く読み、よく理解してから使用してください。

この取扱説明書はいつでも使用できるように大切に保管してください。

取扱説明書が現品と異なる場合は、お買上げの販売店までご請求ください。

まえがき

この度は、当社の移動式融雪機「スノーメル太郎」をお買上げいただきましてありがとうございます。

本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みになって十分にご理解ご納得いただいたうえでお使いください。取扱説明書の中の注意事項、および使用方法などをよく読んでご使用いただきませんと十分な能力を発揮できないばかりか人身事故や財物の損傷などの大きな事故につながることになりかねませんので、十分にご理解のうえ正しくお使いください。

お読みになった後は必ず大切に保管し、わからない点があった場合には取り出してお読みください。

なお、製品の仕様変更などによりお買上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますのであらかじめご了承ください。

この取扱説明書に記載した注意事項や機械に貼られた警告ラベルは、人身事故のおそれがある重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。



警告

この取扱説明書では「危険」「警告」「注意」について次のような定義と警告表示を使用しています。警告表示は、安全作業のために重要な事柄です。人身事故防止や財物損害防止のための重要な事項が記載されていますので、必ずよく理解してからご使用ください。



危険 注意事項を守らないと、死亡又は重傷を負うことになるものを示します。



警告 注意事項を守らないと、死亡又は重傷を負う危険性があるものを示します。



注意 注意事項を守らないと、けがを負うおそれのあるものを示します。

重要 取扱いを誤った場合に、機械の損傷や故障のおそれがあるものを示します。

補足 その他、使用上役立つ補足説明をします。

目 次

| | |
|----------------------------|----|
| 1. 安全に作業するために..... | 1 |
| (1) 全般..... | 1 |
| (2) 本機を使用する前に..... | 2 |
| (3) 使用中の注意..... | 4 |
| (4) 使用後の注意..... | 5 |
| 2. サービスと保証について..... | 7 |
| 3. 仕様..... | 8 |
| 4. 各部の名称..... | 9 |
| 5. 安全装置..... | 10 |
| 6. 取扱要領..... | 11 |
| (1) 排水ホースの取付け..... | 11 |
| (2) 排水せき、および融雪プレート排水栓..... | 11 |
| (3) ハンドル..... | 11 |
| (4) バーナ室扉(後面カバー)..... | 12 |
| (5) 燃料バルブ..... | 12 |
| (6) 操作スイッチ..... | 12 |
| (7) エアー抜き..... | 13 |
| (8) 過熱防止スイッチ..... | 13 |
| (9) 作業後の排水..... | 14 |
| (10) 融雪室内の掃除方法..... | 14 |
| (11) 給油..... | 15 |
| (12) 運転開始前の準備と確認..... | 16 |
| (13) 運転方法..... | 17 |
| (14) 運転停止..... | 19 |
| (15) 凍結防止..... | 20 |
| (16) 雪を効率よく融かすために..... | 21 |

| | |
|----------------------------------|-----------|
| 7. 日常の点検・手入れ | 22 |
| (1) 点検・手入れの注意 | 22 |
| (2) 炎検知器 (CdS) | 22 |
| (3) 燃料フィルター | 23 |
| (4) 油漏れ・油溜まり・油のにじみ | 23 |
| (5) 燃料タンク内の水抜き | 24 |
| (6) 融雪プレートの点検 | 24 |
| (7) 本体の掃除 | 25 |
| 8. バーナが着火しない場合の確認手順 | 26 |
| 9. 故障・異常の見分け方と処置方法 | 27 |
| (1) 異常時の処置方法 — 本体の症状 — | 27 |
| (2) 異常時の処置方法 — 燃焼ランプの点滅 — | 29 |
| 10. 保管 | 30 |
| 11. 配線図 | 31 |

1 安全に作業するために

本機をご使用になる前に、この取扱説明書をよく読み理解した上で安全な作業を行ってください。安全に作業をするためぜひ守っていただきたい注意事項は下記のとおりですが、これ以外にも本文の中で「警告 ▲サイン」として説明のつど取り上げております。

(1) 全般



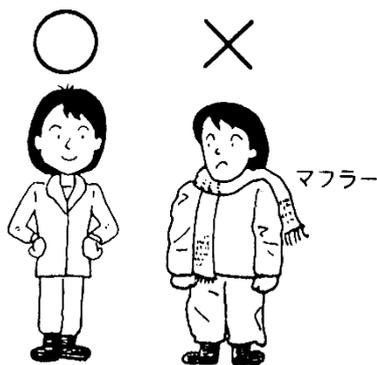
1. 本機は、雪を融かすことを目的とした機械です。他の目的には絶対に使用しないでください。

2. 本機を使用する前に、本取扱説明書および機械に貼ってある警告ラベルをよく読み理解した上で使用してください。

3. 本機を他人に貸すとき、また他人に使用させるときは事前に本機の運転方法を教え、本取扱説明書も貸与し必ず読んでもらうようにしてください。

4. 本取扱説明書および警告ラベルの内容が理解できない人や、子供には絶対に使用させないでください。

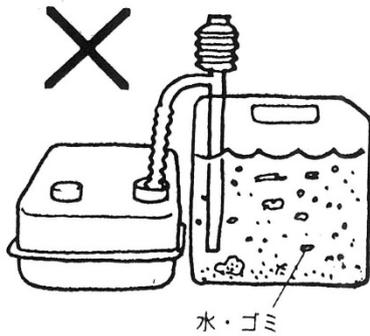
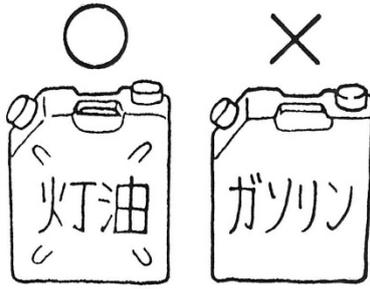
5. 動きやすい安全な服装を着用してください。だぶついた上着やマフラーなどは、融雪室や融雪プレートに触れると大変危険です。



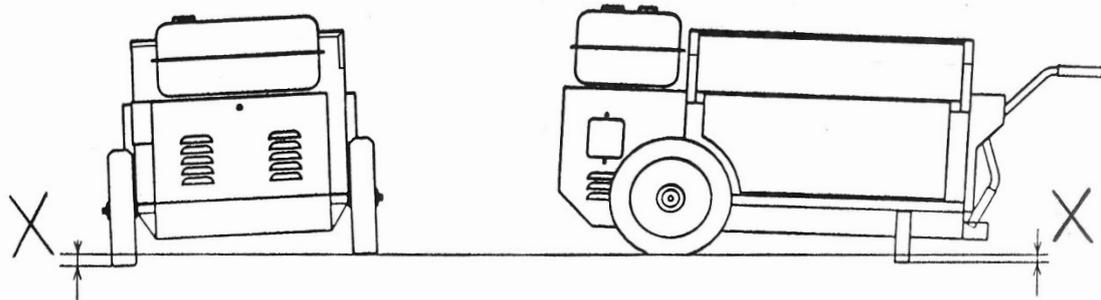
動きやすい服装 だぶついた服装

(2) 本機を使用する前に

1. 燃料は、灯油（JIS 1号灯油）を必ず使用してください。
ガソリン等揮発性の高い油は火災の原因になりますので絶対に使用しないでください。変質灯油、汚れた灯油、水の混じっている灯油等は絶対に使用しないでください。



2. 本機は水平な場所で使用してください。できるだけ前後、左右水平になる場所や、場所作りをして使用してください。
振動の激しいところでは使用しないでください。

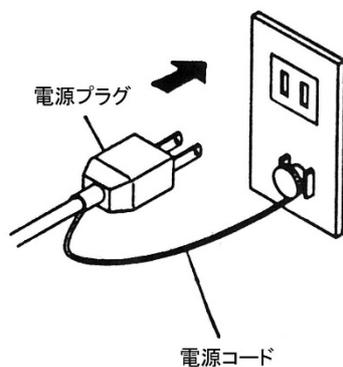


3. 本機を屋内では絶対に使用しないでください。



危険

屋内での使用は一酸化炭素中毒をおこすおそれがあります。



4. 燃料タンクや配管まわりに油もれがないことを確認してください。
火災の原因となります。
5. 電源プラグはコンセントへしっかりと差込み、接地（アース）配線を行ってから使用してください。

(3) 使用中の注意

1. 運転中は絶対に本機から離れないでください。運転を中断する時や、異常を感じた時は必ず本機を停止し電源コードをコンセントから抜いてください。
2. 運転中は絶対に本機を移動しないでください。移動する時は、本機を停止してから行ってください。



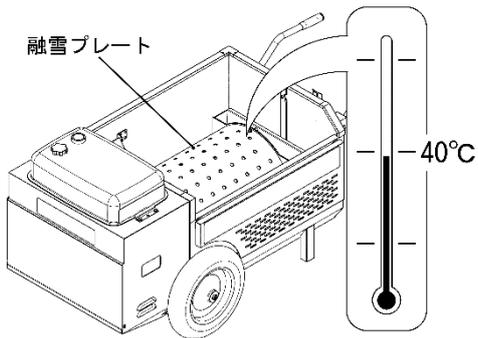
3. バーナ室の後面カバーを、はずした状態で運転しないでください。
雪等が吹き込み、故障の原因となるとともに回転部分や熱くなる部分があるので、誤ってケガややけどをするおそれがあります。

4. 運転中は絶対に融雪室に触れたり、内部に顔や手を入れたりしないでください。
熱気によって、やけどをするおそれがあります。

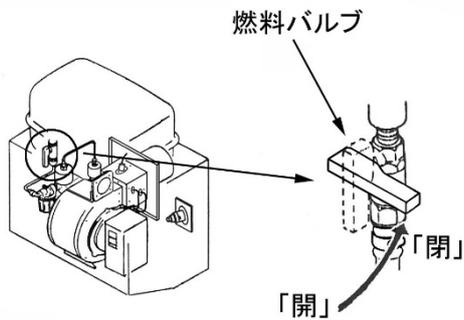


5. 作業者は風上に立って作業してください。本機からの熱気によるやけどや、燃焼ガスによって吐き気やめまいをおこすことがあります。
6. 融雪室に投入した雪をスコップ等で上からたたいて固めないでください。融雪室内が密閉され、正常に燃焼されなくなることがあります。

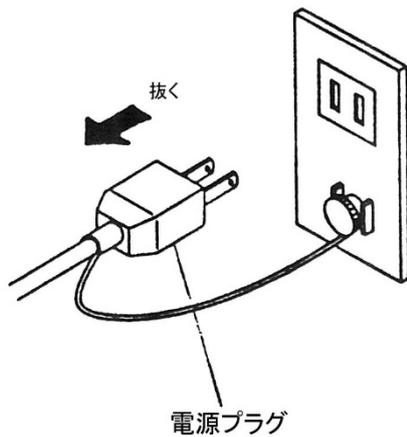
(4) 使用後の注意



1. 内部の掃除は融雪プレートが冷えてから行ってください。
高温部に触れるとやけどをするおそれがありますので、冷えるまで（40°C以下）待って実施してください。



2. 本機の使用後は必ず燃料バルブを閉じてください。
燃料がもれて、火災の原因となるおそれがあります。



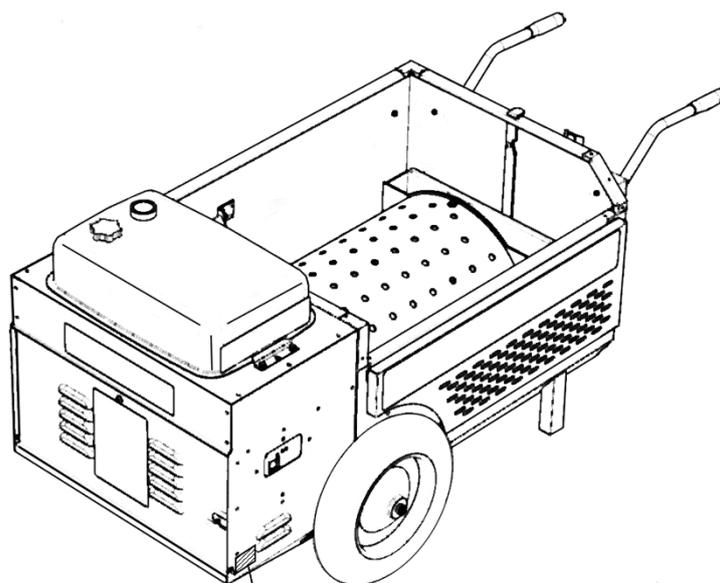
3. 点検や手入れを行う時は、本機が完全に冷えてから必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
抜かれていないと感電事故のおそれがあります。

2. サービスと保証について

●ご相談窓口

ご使用中の故障や不審な点およびサービスについてのご用命は、お買い上げいただいた販売店または弊社へお気軽にご相談ください。

その際、型式名と製造番号を併せてご連絡ください。



| | |
|----------|-------|
| スノーマル太郎 | |
| 型 式 | |
| 製造番号 | |
| 株式会社ホクエイ | |



警告

本機の改造は危険ですので、絶対に行わないでください。
改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は、メーカー保証の対象外になるのでご注意ください。

●保証

- 1) **保証期間中の修理は無料にて行います。**
ただし、保証期間中であっても有料となる場合があります。
詳しくは保証書に記載の「無料修理規定」をお読みください。

- 2) **無料修理期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。**
修理によって性能が維持できる場合は有料修理いたします。
本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後7年です。

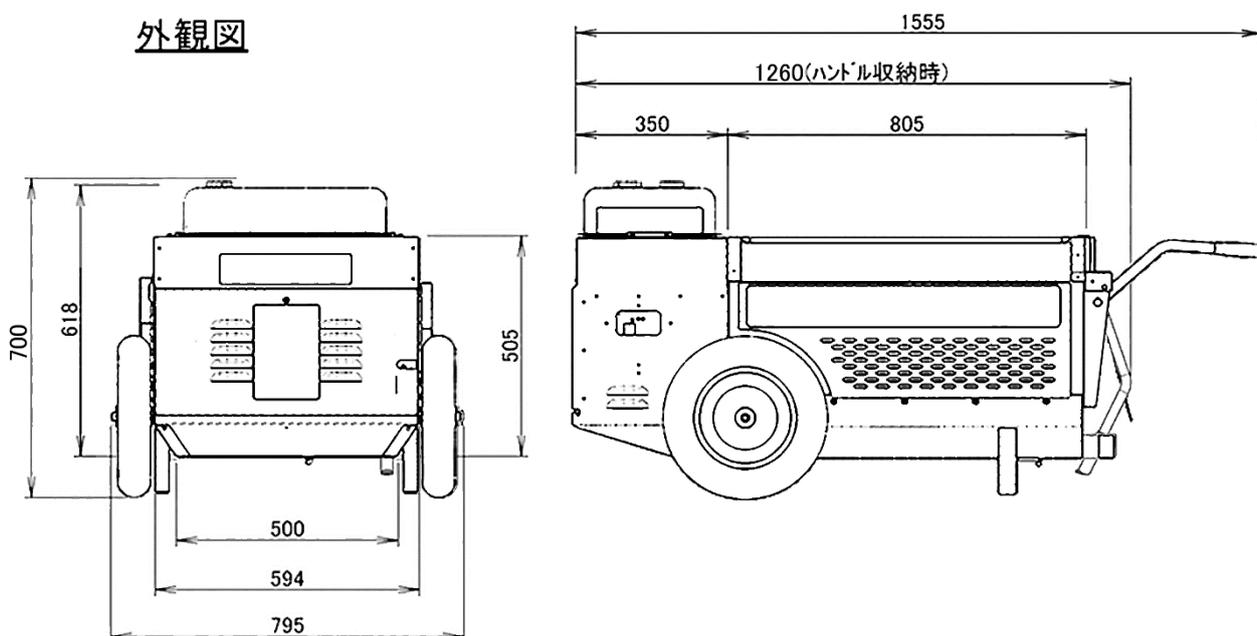
補足 補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

3. 仕様

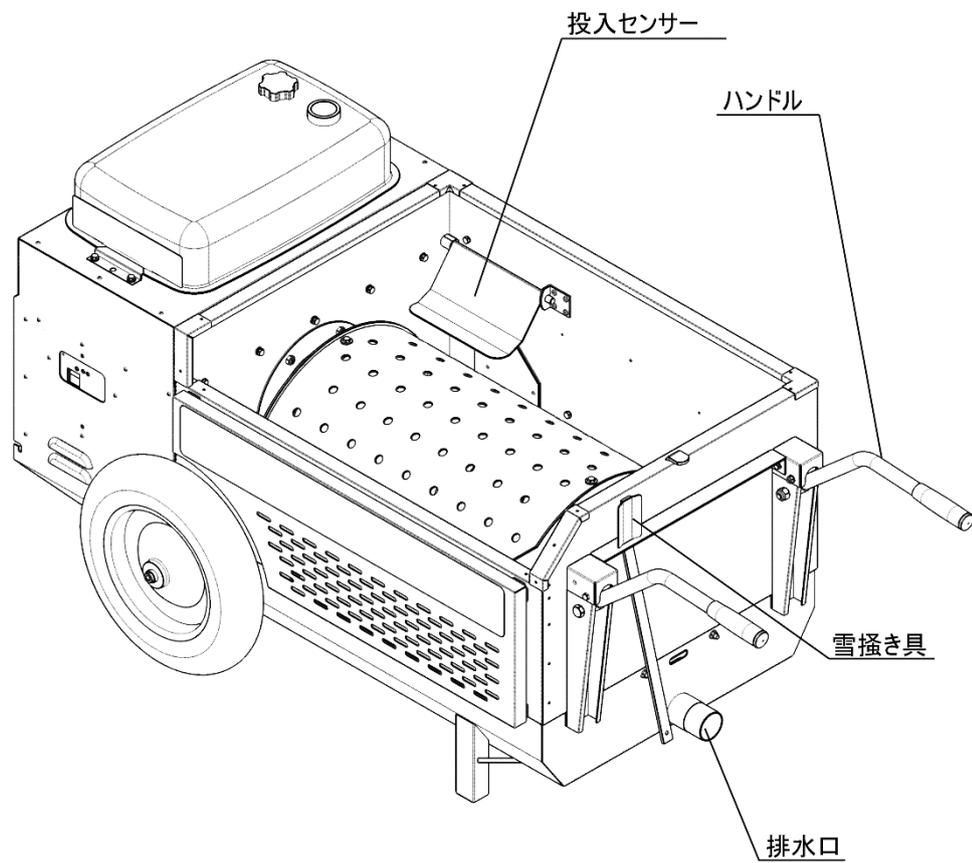
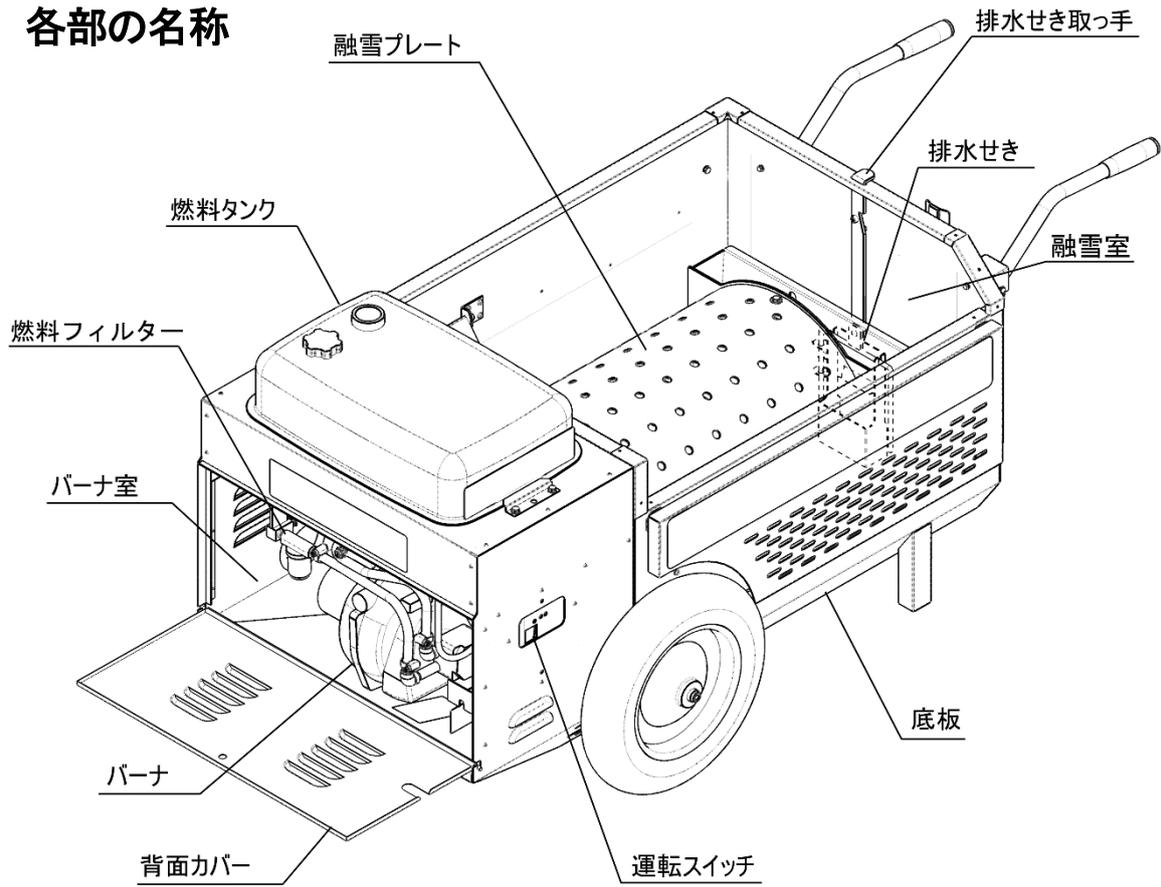
| | |
|--------------------|---|
| 型式 | SMT1300 |
| 融雪方式 | 熱風・接触方式 |
| 融雪水量 リットル/時(注) | 1,300 |
| 燃料消費量 リットル/時(注) | 13.2 |
| 機体寸法 (全長×全幅×全高) | |
| 移動時 (mm) | 1,555×795×700 |
| ハンドル収納時 (mm) | 1,260×795×700 |
| 融雪室寸法 (長×幅×深) (mm) | 800×600×500 |
| 重量(kg) | 95 |
| 使用燃料 | 灯油 (JIS 1号灯油) |
| 燃料タンク容量 | 20 リットル |
| 電源 | AC100V |
| 消費電力 | 128W (点火時: 163W) |
| 付属品 | 排水ホース (5m) ホースクリップ 掻き出し棒 取扱説明書・保証書 |

(注) 融雪水量および燃料消費量については、当社の測定によるものです。

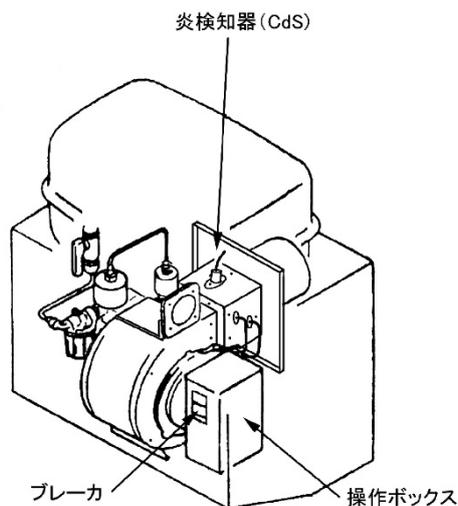
外観図



4. 各部の名称



5. 安全装置

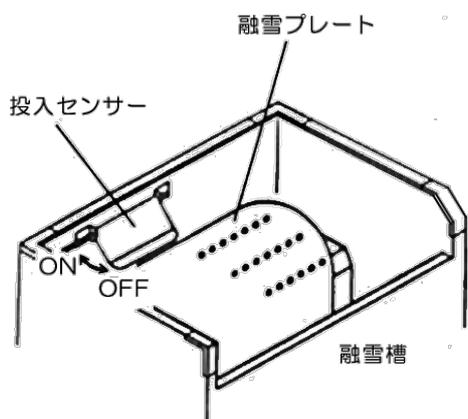


(1) 炎検知器 (CdS)

点火に失敗した時や燃焼中に炎が消えた時、炎の光を検知しなくなり異常を感じて灯油の供給を遮断する装置です

(2) 操作ボックス

運転スイッチで本機の電源のオン・オフをします。また、バーナに正常な燃焼をさせる役割を果たしています。

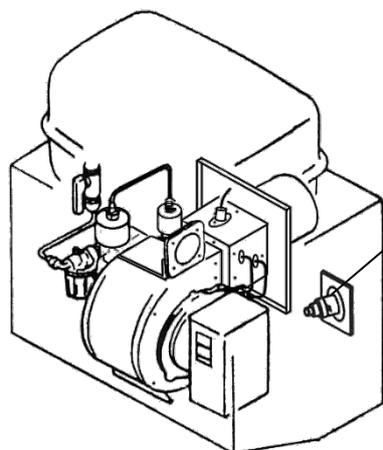


(3) ブレーカ

使用中、何らかの原因で電流が流れ過ぎた時ブレーカが切れ、自動的に消火します。

(4) 空だき防止装置 (投入センサー)

融雪室内の雪の有無を検知する装置で、この部分に雪が投入されていないと各スイッチがONの状態でも点火・燃焼はしません。

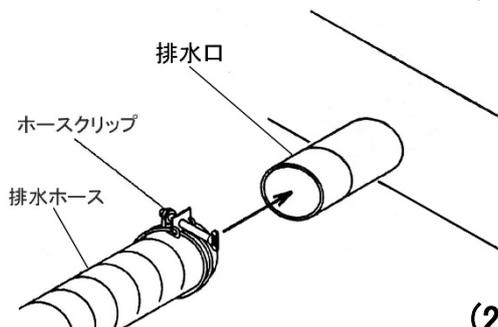


(5) 過熱防止スイッチ

使用中、何らかの原因で空だき状態となり、本機が高温状態になった時自動的に消火します。

6. 取扱い要領

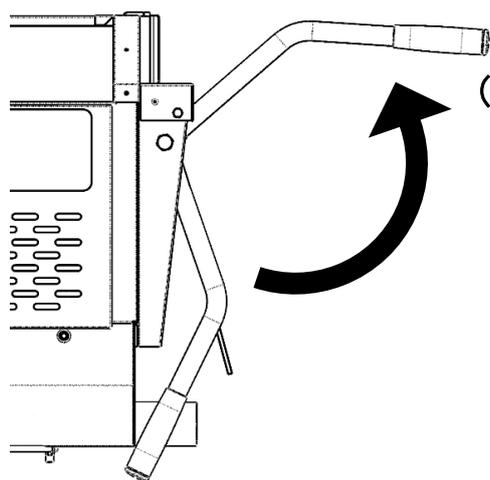
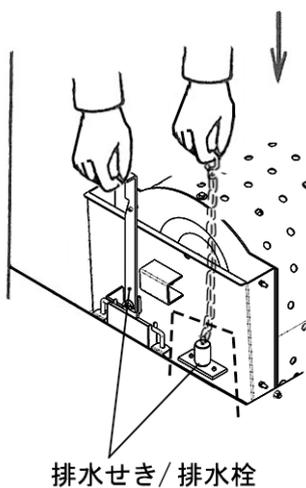
(1) 排水ホースの取付け



1. 排水ホースを排水口に差し込んでください。
2. ホースクリップを確実に締付けてください。

(2) 排水せき、および融雪プレート排水栓

排水口の排水せき、および融雪プレート水溜め部の排水栓を確実に設置してください。



(3) ハンドル

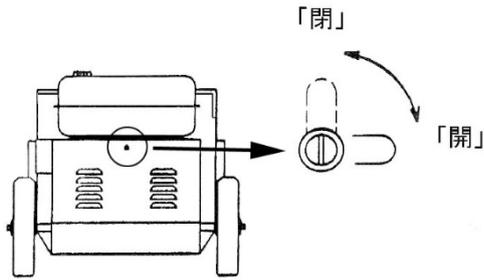
ハンドルは折りたたみ式になっています。本機を移動させる時は、ハンドルを水平の状態にして、持ち上げてください。



注意

ハンドル操作時、指をはさまないように注意してください。

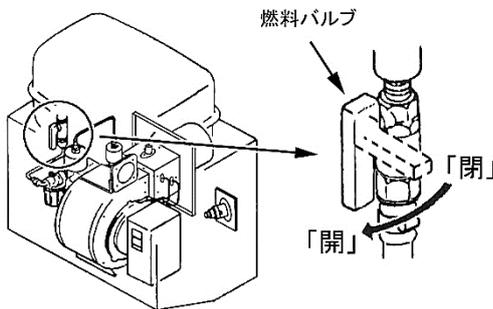
(4) バーナ室扉（後面カバー）



扉を開ける時は、扉に付いている「錠前」の溝を10円硬貨などで回してください。右へ回すと「開」、左へ回すと「閉」となります。（掻き出し棒の先端でも回せます。）

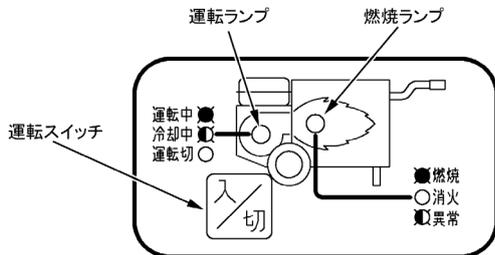
補足 運転する時は、必ず扉を閉めてください。
太陽光が差込み、着火しない場合があります。

(5) 燃料バルブ



燃料タンク左側下（バーナ室側）についている燃料バルブのレバーを下方へ回すと、バルブが開いて灯油が流れます。

(6) 操作スイッチ



1. 運転スイッチ

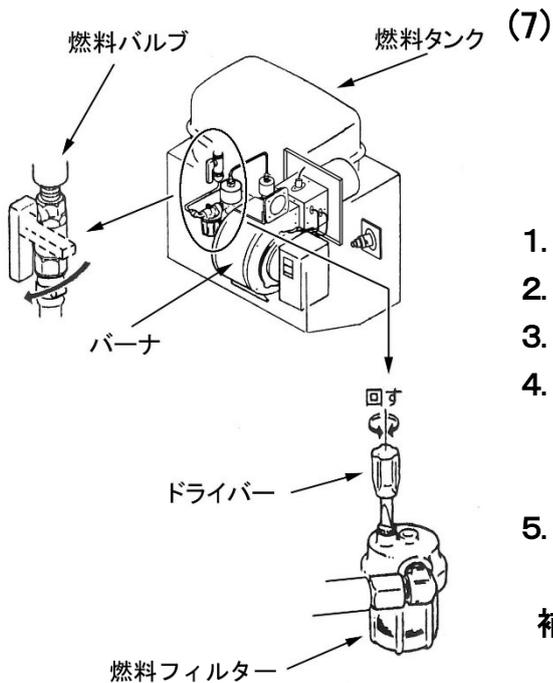
- ・スイッチを押すと「入」状態になりバーナファンが回ります。（運転ランプ点灯）
- ・スイッチを長押しすると「切」状態になり60秒後にバーナファンが停止します。

2. 運転ランプ

- ・運転スイッチを「入」にすると：
点灯します。
- ・運転スイッチを「切」にすると：
点滅し、60秒後にバーナファンが停止し、ランプも消灯します。

3. 燃焼ランプ

- ・投入センサーをONにすると：
点灯し、10秒後に燃焼します。
- ・投入センサーをOFFにすると：
消灯し、燃焼切となります。



(7) エアー抜き

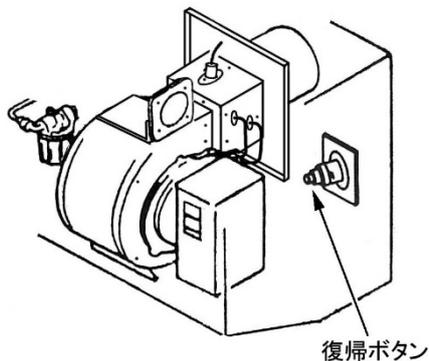
初めて使用する時や使用中燃料切れで運転できない時は、次の順序で必ずエアー抜きを行ってください。

1. 燃料タンクに灯油を入れてください。
2. 後面カバーを開いてください。
3. 燃料タンク左側下の燃料バルブを開いてください。
4. バーナ左側燃料フィルターのエアー抜きネジをゆるめてエアーを抜き、カップを燃料で満タンにしてください。
5. 満タン後はエアー抜きネジを締めてください。

補足 燃料タンクは、できるだけ空にしないように早目に給油してください。

(8) 過熱防止スイッチ

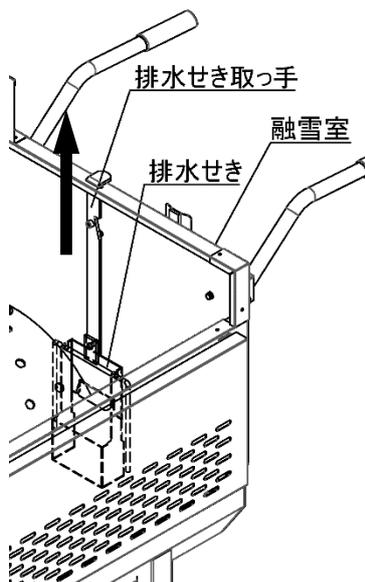
何らかの原因で高温になり過熱防止スイッチがはたらきバーナが自動消火した場合は、電源を切り、冷めるのを待ってから過熱防止スイッチの復帰ボタン(赤色)を押してください。



注意

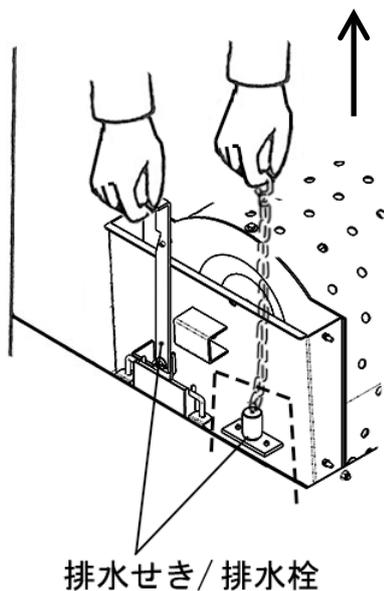
原因を取り除いてから再使用してください。

(9) 作業後の排水



1. 排水せきを上げ、融雪プレート水留め部の排水栓を抜いて排水してください。排水後は排水栓を元の位置に押し込んで下さい。

重要 融雪プレートの排水は必ず実施してください。凍結により、融雪プレートが変形するおそれがあります。



(10) 融雪室内の掃除方法

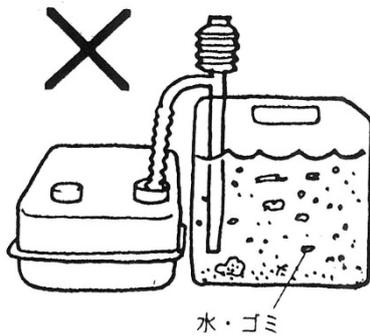
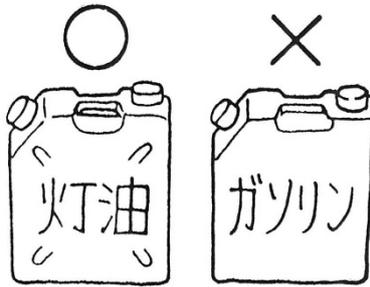
作業終了毎に融雪室内の底に燃えやすい物や石等の異物が入っていないか点検し、入っている場合は掃除をしてください。

⚠ 注意

- ・内部の掃除は融雪プレートが冷えてから行ってください。高温部に触れるとやけどをするおそれがありますので、冷える(40℃以下)まで待って実施してください。
- ・掃除の際、異物等によるケガに注意してください。

(11) 給油

1. 使用燃料



警告

ガソリン・シンナー・ベンジン・軽油・重油・廃油・水等や、これらが混じっている灯油は絶対に使用しないでください。

- ・燃料は必ず灯油（JIS 1号灯油）を使用してください。

2. 給油の際の手順と注意



注意

給油は必ず運転を停止して、融雪プレートが完全に冷える(40℃以下)まで待ってから行ってください。

- ・燃料は、満タンで約 1.5~2 時間運転できますが、できるだけ燃料切れで停止する前に給油してください。
- ・給油の際に、水・ゴミ等が入らないように注意してください。バーナの寿命低下の原因になります。
- ・給油が終わったら、給油口蓋を確実に締めてください。こぼれた灯油はきれいに拭き取ってください。
- ・燃料切れしたときは、14 ページを参照してエア抜きを行ってください。

(12) 運転開始前の準備と確認

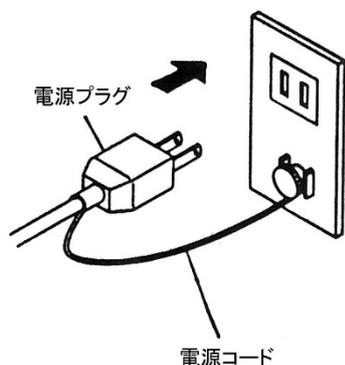
1. 燃料タンクに灯油が充分入っており、配管まわりに灯油もれがないことを確認してください。
2. 本機を融雪する場所へ移動し、できるだけ前後左右平坦な場所に設置してください。
3. 周囲に灯油・ガソリン・シンナー等の危険物や紙等の燃えやすい物がおかれていないか確認してください。
4. 本機の排水口に排水ホースを取付け（12ページ参照）、ホースを排水溝等へまっすぐに導いてください。ホースの途中および先端は、必ず排水口より低くしてください。
5. 融雪室排水せき、および融雪プレート水溜め部の排水栓をしっかりと閉めてください。



注意

排水は道路等、人や車の通る場所には絶対に流さないでください。

凍結して事故につながるおそれがあります。



6. 電源コードのプラグをコンセントに確実に差し込んでください。また、使用中にはずれないようにしてください。



注意

電源プラグは、接地(アース)配線を行ってから使用してください。

7. 本機、特にバーナ室・操作スイッチのまわりに積雪がないように注意してください。

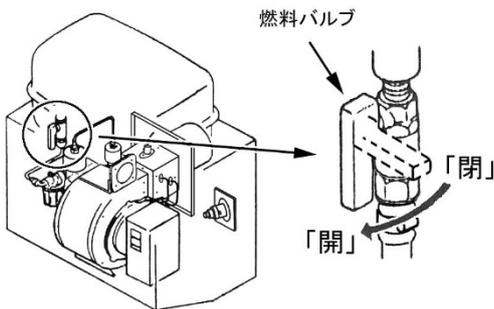
重要 バーナ室の空気取入れ口がふさがれていると、バーナが正常に燃焼しません。

(13) 運転方法

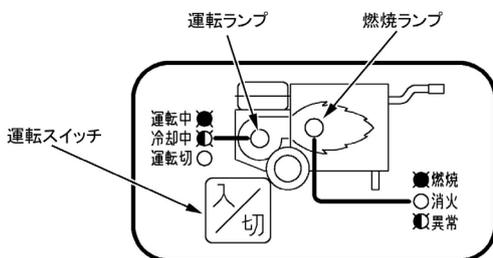


注意

- ・運転中は絶対に融雪室に手を触れたり、内部に顔や手を入れたりしないでください。熱気によってやけどをするおそれがあります。
- ・作業者は風上に立って作業してください。本機からの熱気によるやけどや、燃焼ガスによって吐き気やめまいをおこすことがあります。



1. 燃料バルブを「開」にしてください。



2. 運転スイッチを押してください。
(運転ランプ点灯)

3. 雪を融雪室に投入してください。
(投入センサーがはたらいて燃焼ランプが点灯し、
10秒後にバーナが燃焼します。)

補足 バーナは、融雪プレート内の未燃ガス等を10秒間
排出した後、燃焼するようになっています。
従って、投入センサーがはたらいても10秒間は
燃焼を開始しません。

4. 順次、雪を投入してください。

重要 雪は融雪室内に均一の高さになるよう投入してくだ
さい。かたよった入れ方をすると、融雪室の変形
や変色をおこすことがあります。

- ・融雪室内に雪が無い状態（センサーがはたらいていない
状態）でバーナが燃焼する場合は、運転スイッチを切っ
てください。空だき状態となり融雪プレートが異常変形
するおそれがあります。
販売店に連絡して点検・修理を行ってから使用してくだ
さい。

5. スコップで中の雪をくたくと、効率良く融かすことが
できます。



注意

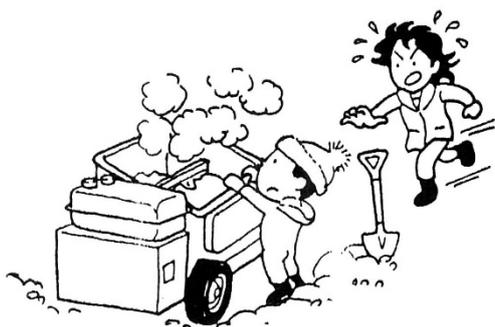
運転スイッチを「入」にしてから雪を投入してくだ
さい。
融雪室に投入した雪をスコップ等で上からたた
いて固めないでください。

● 運転中の注意

1. 運転中は本機から絶対に離れないでください。また、運転を中断する時や異常を感じた時は、必ず本機を停止し、電源プラグを抜いてください。

重要 運転中および掃除の際、バーナ部、電気配線部には絶対に水をかけないでください。故障の原因となります。

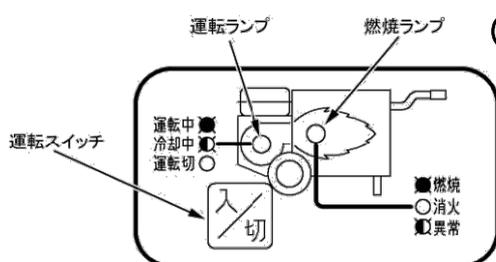
2. 運転中、万が一停電になった場合は通電を待ち、通電後は再度運転スイッチを「入」にして作業を行ってください。



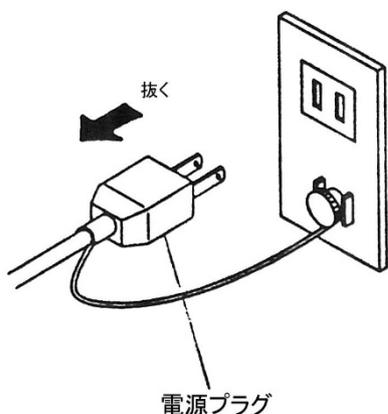
注意

お子様が本機に近づき操作したり、本機に触れたりしないようにしてください。

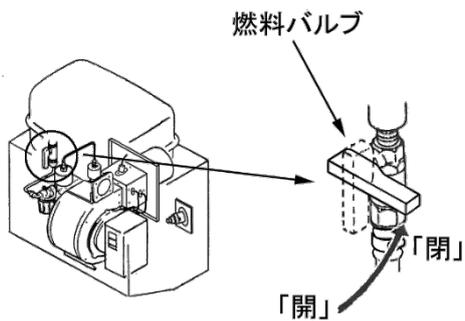
(14) 運転停止



1. 運転スイッチを長押しして「切」にしてください。(運転ランプが点滅します。)
2. 約60秒後に、バーナファンが自動停止します。(運転ランプ消灯)



3. 電源プラグをコンセントから抜いてください。

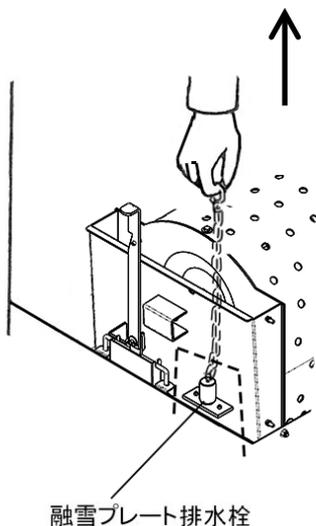


4. 燃料バルブを閉じてください。
5. 融雪室および融雪プレートの水を抜いてください。
(15ページ参照)
6. 融雪室内にゴミや石等が入っている時は、融雪室内を掃除してください。(15ページ参照)
7. 本機および排水ホースはできるだけ屋内に保管してください。



注意

本機の使用後は必ず燃料バルブを閉じてください。燃料がもれて、火災の原因となる事があります。

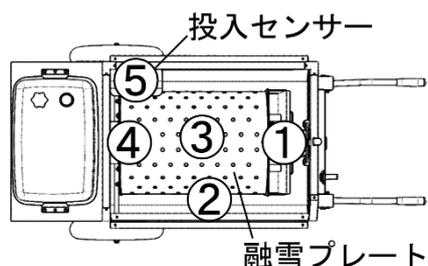


(15)凍結防止

1. 作業終了後は必ず融雪室内および融雪プレート水溜め部の排雪、排水を行ってください。
2. 本機を屋外に保管する時はシートカバーをかけて、雪や雨水がかからないようにしてください。

(16) 雪を効率良く融かすために

1. 融雪室内に雪を投入する時は、空間ができないように融雪室内が均一になるように投入してください。
特に、バーナ室の過熱防止スイッチ側は空間ができないよう注意してください。



重要 投入開始時は、左図の①→②→③→④→⑤の順に満杯にしてからバーナが燃焼するように投入すると効率良く作業が行えます。

2. 固まった大きい雪を投入した際は、スコップでぐぐくと効率よく融かすことができます。

重要 スコップでぐぐく際、融雪室や投入センサーに当たらないようにしてください。

3. 作業を終了する場合、局部的に雪が残っている時はスコップで融雪プレート全体に雪を散らすと燃料の節約になります。

補足 融雪室全体に投入した雪を上からスコップ等で押しつぶした時、黒い煙が出る場合がありますが異常ではありません。



注意

運転中は融雪室に手を触れたり、内部に顔や手を入れないでください。熱気によって、やけどをされるおそれがあります。

8. 日常の点検・手入れ

(1) 点検・手入れの時の注意



警告

点検・手入れの際、次のことは絶対に行わないでください。

- ・空だき防止装置のリミットスイッチの取外し。
- ・バーナに付いている電磁バルブの分解。
- ・操作ボックスの分解。
- ・バーナの取外し、分解。
- ・過熱防止スイッチの取外し。
- ・電気部品および配線の取外し、分解。

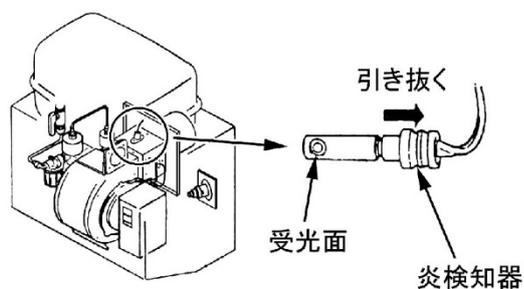


注意

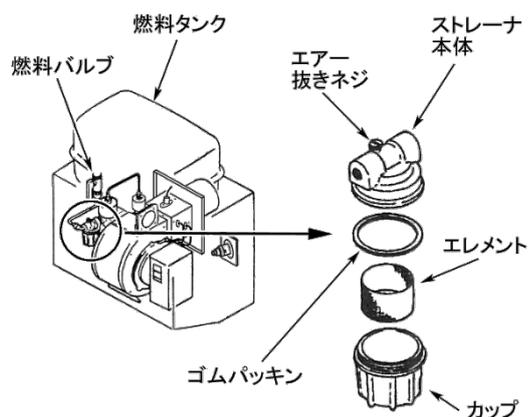
点検手入れを行う時は、融雪プレートが冷えてから必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

(2) 炎検知器（C d S）

バーナ右側に付いている炎検知器を引抜いて点検してください。受光面が汚れているとバーナが点火しません。約1ヶ月に1回、受光面を柔らかい布で拭いてください。



(3) 燃料フィルター



燃料フィルターに水、ゴミ等が溜まると、電磁バルブから振動音が出たり、点火不良をおこすことがあります。15日に1回位の割合で点検・掃除を行ってください。

重要 必ず燃料バルブを閉じてから行ってください。燃料バルブが開いていると燃料タンクから灯油が流れ出します。

(4) 油もれ、油の溜まり、油のにじみ

日常、油もれまたは油の溜まり、油のにじみがないか点検するように習慣づけ、給油の時こぼれた灯油は良く拭取ってください。(毎運転時)

万一、油もれによって油の溜まり、油のにじみが生じているときは、ただちに運転を停止し、燃料バルブを閉じてください。その後、異常箇所を確かめて処置を行い、油もれがなくなったことを確認してから運転してください。

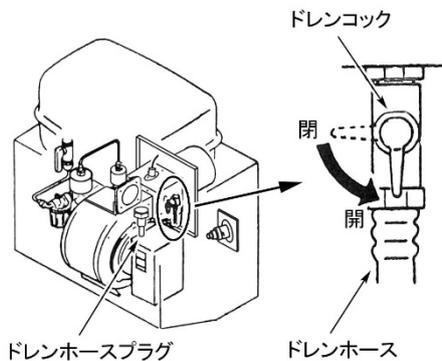


注意

油もれは火災の原因となるので、必ず点検してください。

(5) 燃料タンク内の水抜き

燃料タンク内には、水やゴミ等が溜まりやすく、バーナ側へ流れると点火不良や燃焼不良の原因になります。15日に1回位タンク内を点検して、次のように水を抜いてください。



1. ドレンホース先端にドレン受けを準備し、ドレンコックを「開」にして水を抜いてください。
2. 水を抜いたらドレンコックを確実に「閉」にしてください。
3. ドレンホースの先端をドレンホースプラグに奥まで差しこみ、油もれがないか点検、確認してください。

重要 抜いた水は、灯油が混じっている場合がありますので、絶対に排水溝等へ流さないでください。

(6) 融雪プレートの点検

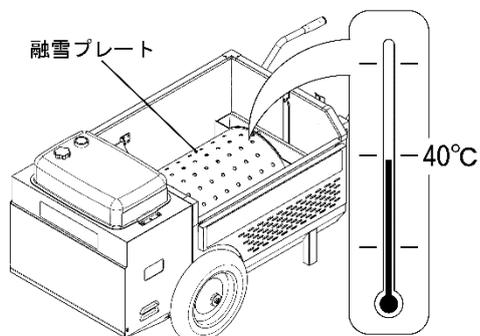
1. 融雪プレートの多少の変形は、使用上問題ありませんが穴があいたり、き裂が生じた場合は交換してください。なお、変形の目安ですがおおむね20mmまでのへこみまたは、ふくらみとお考えください。
2. 本機を末長く使用していただくために、次の注意を必ず守っていただくようお願いいたします。

- ・融雪室内に雪を投入する時は、空間ができないように融雪室全体に均一に投入してください。
- ・固まった大きい雪を投入する時は、スコップで均一にならしてください
- ・作業を終了する場合、局部的に雪が残っている時は、スコップで融雪プレート全体に雪を散らしてください。

(7) 本体の掃除



注意

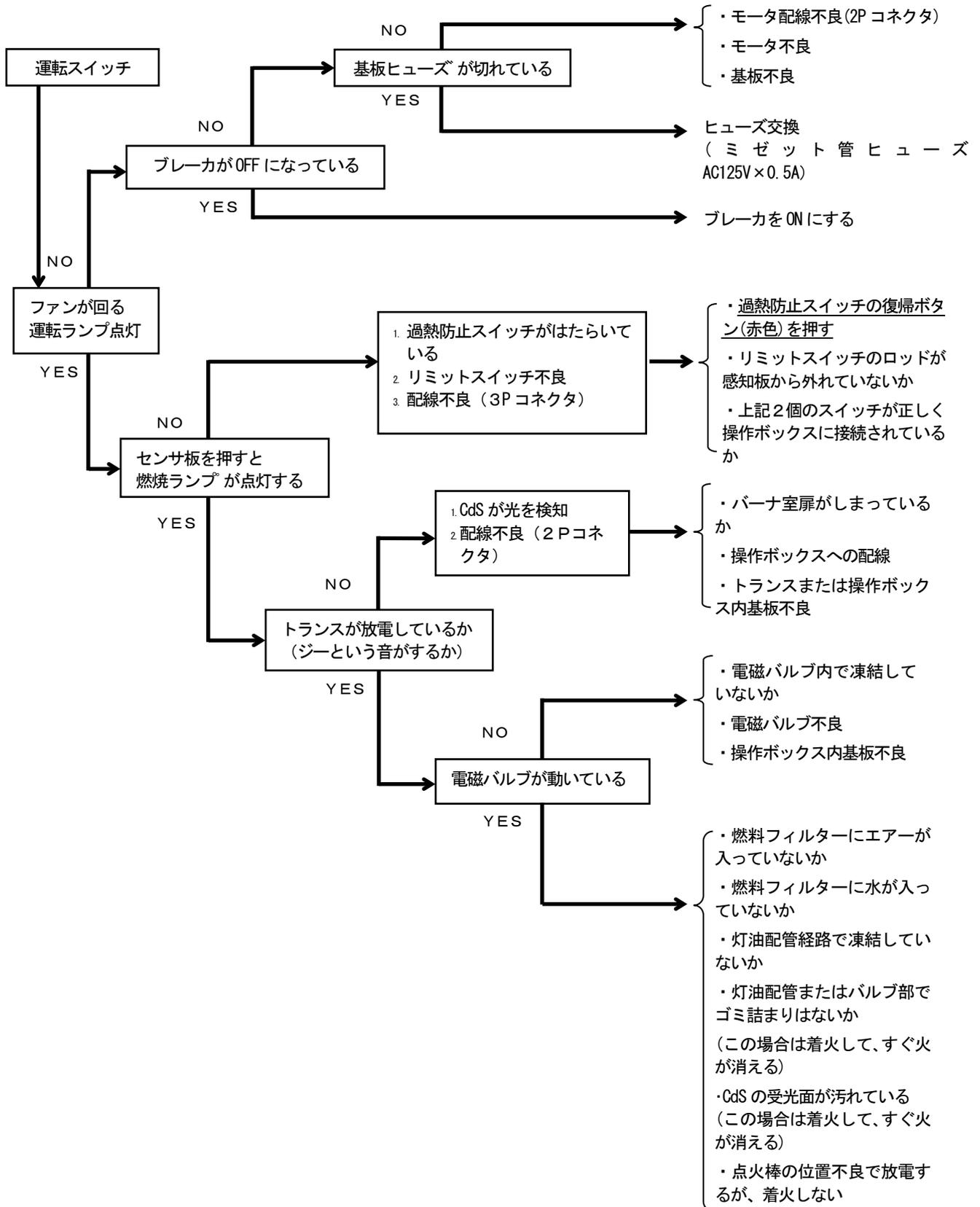


- ・内部の掃除は融雪プレートが冷えてから行うこと。高温部に触れるとやけどをするおそれがありますので、冷える(40°C以下)まで待つて実施してください。
- ・掃除の際、異物等によるケガに注意してください。

1. 使用後は必ず乾いた布で、バーナ室まわりに付着した水気を拭き取ってください。(毎運転時)
2. 融雪室内に燃えやすい物や石等がないか点検し、もし入っていれば取除いてください。(毎運転時)
排水せきを上げて融雪室内を水道水等で洗い流すときれいにできます。

9. バーナが着火しない場合の確認手順

運転開始時、バーナが正常に着火しない場合、下記フローチャート手順で確認してください。



10. 故障・異常の見分け方と処置方法

使用中に異常がありましたら、次表により原因を調べて処置してください。

また、異常があった際に操作ボックスにある燃焼ランプが点滅します。

燃焼ランプの点滅状況からも、異常箇所を知ることができます。

原因のわからない時は、運転スイッチをOFFにしてお買い求めの販売店にご相談ください。

調子がおかしいままで使用しますと、寿命が短くなるだけでなく危険です。

(1) 異常時の処置方法 ー本体の症状ー

| 現象 | 原因 | 処置方法 | ページ |
|--|-----------------------------|--------------------------|-----|
| 運転スイッチを「入」にしてもファンが回転しない。 | ①電源プラグが外れている。 | 確実に入れる。 | |
| | ②停電している。 | 通電するまで待つ。 | |
| | ③ブレーカが切れている。 | ブレーカをONにする。 | 10 |
| | ④配線コネクタが外れている。 (ファンモータ用) | 確実に差し込む。 (2極のコネクタ) | |
| 投入センサーをONにしても点火しない。 (投入センサーがはたらいてから10秒待っても点火しない。) | ①燃料切れしている。 | 燃料タンクに灯油を補給する。 | 15 |
| | ②燃料バルブが閉じている。 | 燃料バルブを開く。 | 12 |
| | ③送油パイプ内で凍結している。 | 凍結を溶かす又は取除く。 | |
| | ④送油経路にエアが入っている。 | エア抜きをする。 | 13 |
| | ⑤灯油に水やゴミが入っている。 | 燃料フィルター・燃料タンクを掃除する。 | 23 |
| | ⑥バーナ室の後面カバーが外れている。 | 後面カバーを正しくセットする。 | |
| | ⑦融雪室内に雪がない。 | 雪を投入する。 | |
| | ⑧投入センサーの配線コネクタが抜けている。 | 確実に差し込む。 (2極及び3極コネクタ) | |
| | ⑨過熱防止スイッチがはたらいている。 | 過熱防止スイッチの復帰ボタン(赤色)を押す。 | 13 |
| | ⑩操作ボックス内の基板が正常でない。 | 販売店へご相談ください。 | 10 |

| 現象 | 原因 | 処置方法 | ページ |
|----------------------|------------------------------|--|----------|
| 点火するが、すぐ火が消える。 | ①燃料切れしている。 | 燃料タンクに灯油を補給する。 | 15 |
| | ②送油経路にエアが入っている。 | エア抜きする。 | 13 |
| | ③灯油に水が混じっている。 | 燃料フィルター・燃料タンクを掃除する。 | 23 |
| | ④炎検知器（CdS）の受光面が汚れている。 | 炎検知器（CdS）を引き抜いて、受光面の汚れを取除く。 | 22 |
| バーナの電磁バルブから異常音が聞こえる。 | 燃料切れによって電磁バルブの中にエアが入っている。 | 燃料タンクに灯油を補給し、燃料フィルターのエア抜きネジをゆるめてエア抜きをする。 | 15 13 |
| 燃焼音が異常である。 | 灯油以外の燃料を使用している。 | ただちに、灯油に入れ替える。 | 15 |
| 運転中に燃焼が勝手に止まる。 | ①燃料切れしている。 | 燃料タンクに灯油を補給する。 | 15 |
| | ②灯油に水が混じっている。 | 燃料フィルター・燃料タンクを掃除する。 | 23 |
| | ③灯油以外の燃料を使用している。 | ただちに、灯油に入れ替える。 | 16 |
| | ④炎検知器（CdS）の受光面が汚れている。 | 炎検知器（CdS）を引き抜いて、受光面の汚れを取除く。 | 22 |
| | ⑤投入センサーがはたらいしている。 | 雪の量が少ないので、雪を投入する。 | |
| | ⑥操作ボックス内の基板が正常でない。 | 販売店へご相談ください。 | 10 |
| 送油経路から油もれがある。 | ①配管接続部の不良。 ②燃料フィルター等のゆるみ。 | 燃料バルブを閉じて、お買い求めの販売店へ連絡して点検・修理してもらう。 | |

| 現象 | 原因 | 処置方法 | ページ |
|--------------------|-----------------------|---|-----|
| 温度が上昇せず、雪が解けにくい。 | ①バーナノズルのゴミ詰まり。 | 運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店に連絡して点検・修理してもらう。 | |
| | ②電磁バルブの故障。 | | |
| 異常にすすが出る、融雪水が黒くなる。 | 灯油燃焼量とファン風量とのバランスが悪い。 | | |
| 雪が入っていないのに燃焼する。 | センサー部の故障。 | | |

(2) 異常時の処置方法 — 燃焼ランプの点滅 —

| | 燃焼ランプ点滅状況および原因 | 処置方法 |
|---|---|---|
| 1 |  (スタート時、一瞬放電してファンが止まる) ①炎検知器 (CdS) が光を検知している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・バーナ室の扉を閉める。 |
| 2 |  (スタート時、ファンが回転しない) ①過熱防止スイッチが切れている。 (運転中、燃焼が止まる) ②過熱防止スイッチが過熱を検知した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・復帰ボタンを押す。 ・冷えるまで待ってから復帰ボタンを押す。 |
| 3 |  (10秒間放電後、ファンが止まる) ①燃料切れしている。 ②燃料バルブが閉じている。 ③送油パイプ内で凍結している。 ④燃料フィルターにエアが入っている。 ⑤炎検知器 (CdS) の受光面が汚れている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・灯油を補給する。 ・燃料バルブを開く。 ・凍結を融かす。 ・エア抜きをする。 ・汚れを拭き取る。 |

11. 保管

シーズンオフや長期間（おおむね1ヶ月以上）使用しないときは、次の要領で手入れを行い保管してください。

1. 電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. 融雪室内および融雪プレート内の水を排出してください。
3. 融雪室内および融雪プレート内を掃除してください。
4. 融雪室内および融雪プレート内を水道水等で洗い流してください。
5. 排水ホースを排水口から外してください。
6. 燃料フィルターのカップを外して灯油を抜き取り、掃除してください。
7. 燃料タンクのドレンコックを開いて、タンク内の灯油は全て抜き取ってください。
8. 塗装部分は湿った布で汚れを落としてから、カラ拭きしてください。
9. 本機にシートカバー等をかけて、雪や雨水がかからないよう屋内に保管してください。



注意

燃料タンクの給油バルブ、およびドレンコックは必ず閉めて保管して下さい。

12 配線図

